

第2回習志野市水道料金の あり方に関する懇話会



習志野市企業局

令和5年10月13日(金) 公営企画課



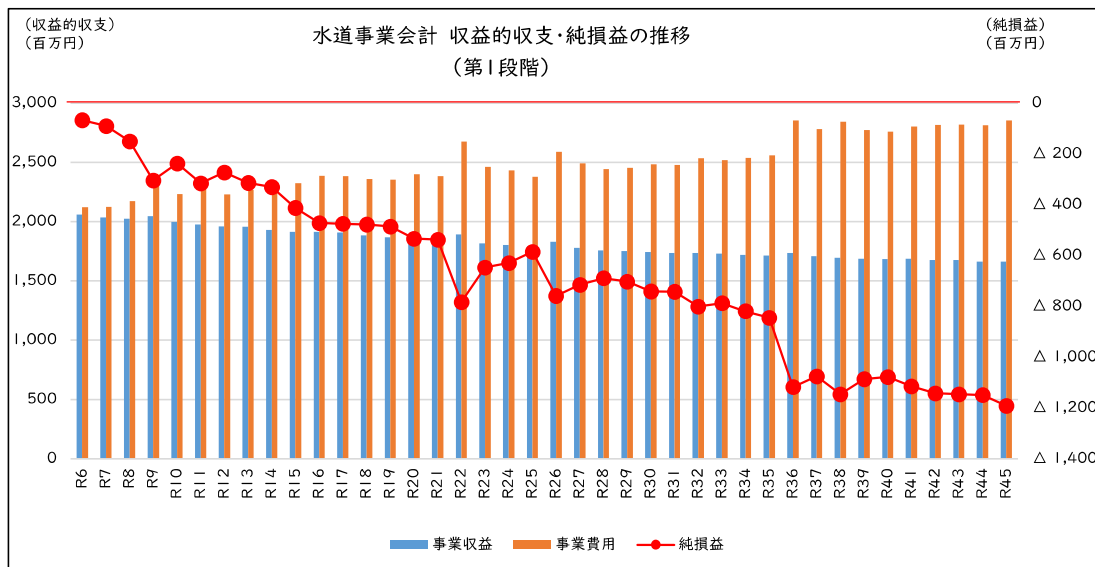
目次

収支見通し 2

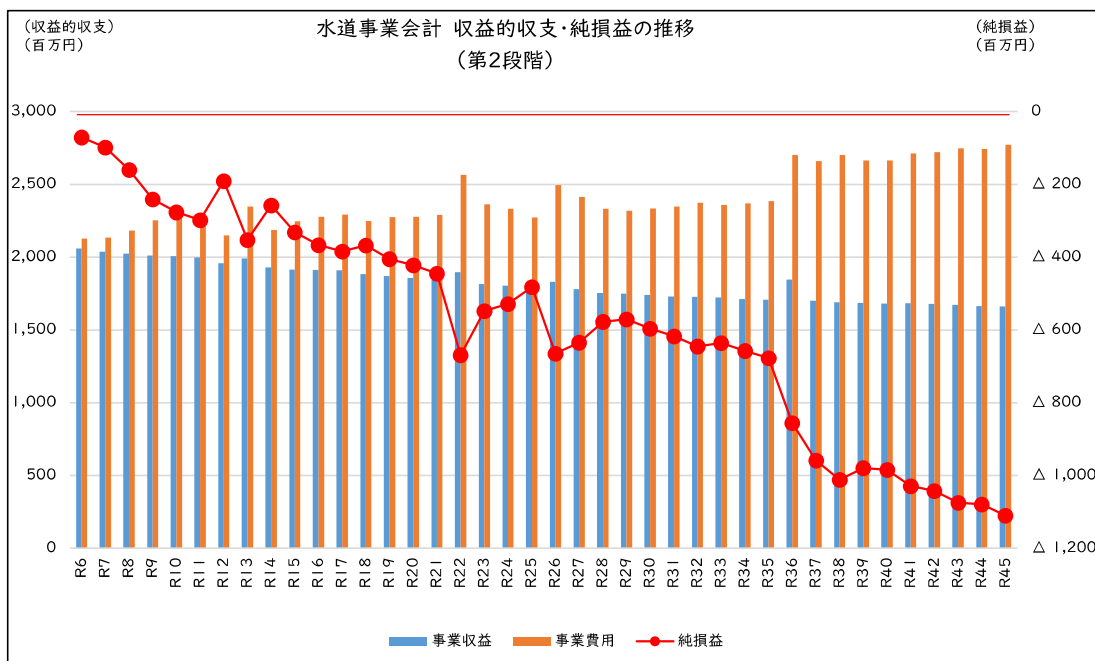
水道料金の現状と今後 6

第2次習志野市水道事業経営戦略(令和6～15年度)の策定に 当たり、将来の収支を試算

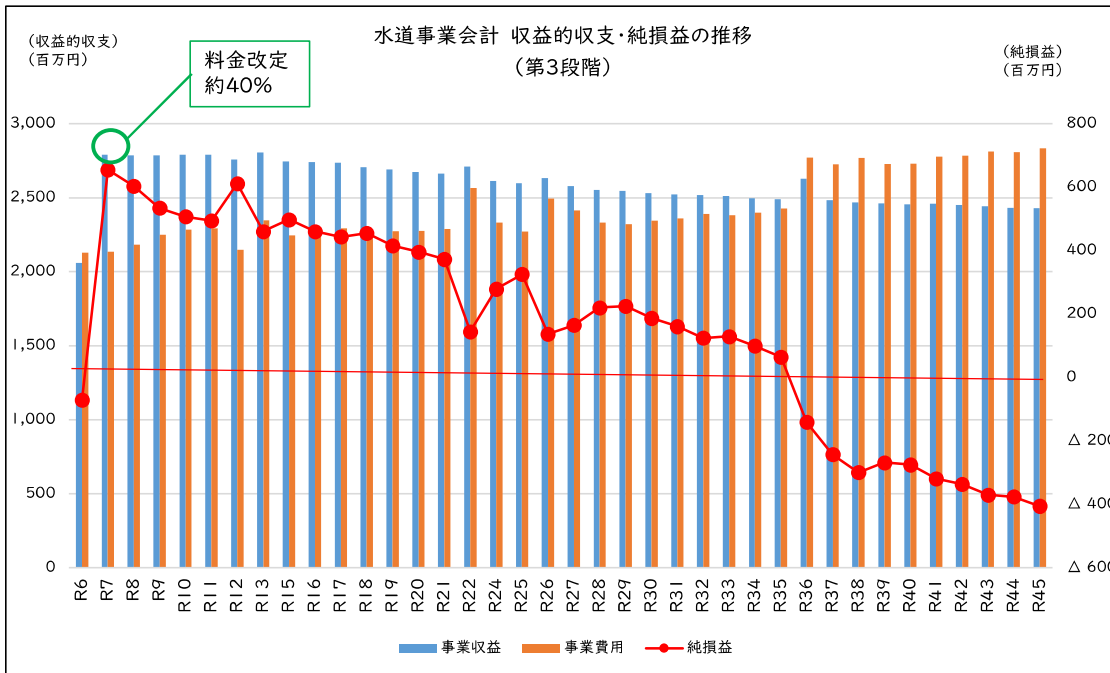
施設の統廃合・料金改定、いずれも未実施の場合



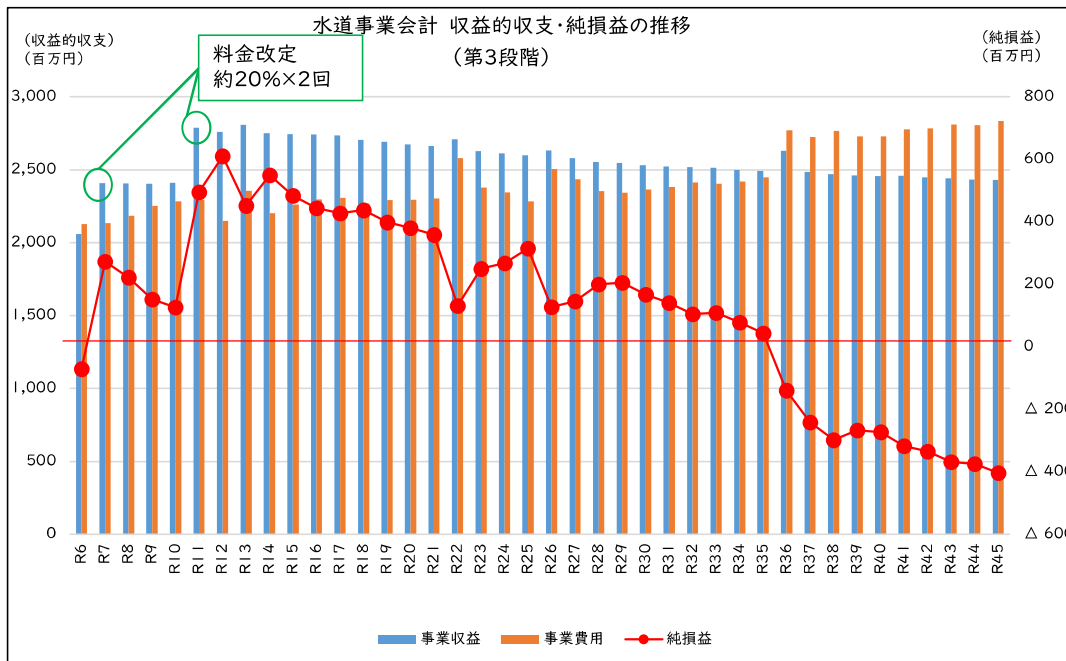
施設の統廃合を実施・料金改定を未実施の場合



施設の統廃合・料金改定（1段階）を実施した場合



施設の統廃合・料金改定（2段階）を実施した場合



本市の水道料金は、基本料金と従量料金で構成。

●基本料金

設置された水道メーターの口径ごとに区分

メーター口径 (mm)	基本料金 (円/月)
13	530
20	1,010
25	1,550
30	4,350
40	7,620
50	13,170
75	31,150
100	56,640
150	138,520

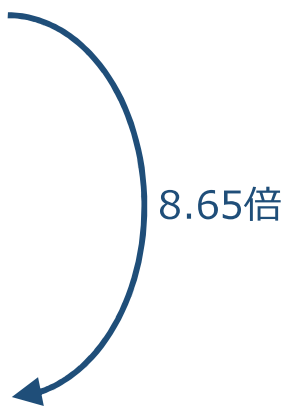
●他事業者との比較（基本料金）

(料金改定実施が近い順)

改定時期	H17.6	R4.4	R3.7	R元.10	H17.1	H8.4
口径	習志野市	佐倉市	横浜市	八千代市	東京都	千葉県
13	530	557	840	600	860	380
20	1,010	1,168	845	1,220	1,170	890
25	1,550	2,090	850	1,810	1,460	1,590
30	4,350	3,698		2,830	3,435	
40	7,620	6,378	10,150	4,830	6,865	6,350
50	13,170	10,291	10,500	10,150	20,720	14,400
75	31,150	22,940	10,900	19,790	45,623	33,100
100	56,640	40,736	12,000	33,270	94,568	63,900
150	138,520	88,976	30,000	77,530	159,094	177,600
200			42,000		349,434	360,000
250			52,000		480,135	641,000
300					816,145	1,027,000

- 従量料金
使用水量に応じた単価

使用量区分 (m ³)	料金 (円/m ³)
1-10	40
11-30	98
31-50	147
51-100	196
101-500	247
501-1000	297
1001以上	346



使用水量が多くなるほど単価が高くなる逓増(ていぞう)制



- 逓増制とは
水道事業は、元々小規模な施設で、限られたお客さまへ水道水を供給。
時代とともに水道施設を拡張し、給水区域を拡大・多くの人々への供給。

しかし、
水道施設の拡張には莫大な資金を要する。
ダムなどの水源開発が進んでおらず水源が乏しかった。

そのため、
水道水の使用抑制などを目的に、
多くの水道事業者で逓増制を採用。



● 逓増制の課題

○ 1件当たりの使用水量が減少

要因：節水機器の普及・節水意識の浸透・世帯人員の減少
→ 安い単価を適用。

○ 大口使用者による水道水以外の利用

A社の事例

年度	使用水量 (m ³ /月)	水道料金 (万円/月)	
平成17年	14,000	480	中水(再生水)利用
令和元年	7,000	220	
令和4年	1,900	60	地下水利用



わたしが支えるあしたの暮らし 習志野市企業局

● 他事業者との比較（従量料金）①（料金改定時実施が近い順）

改定時期	H17.6	改定時期	R4.4	改定時期	R元.10	改定時期	H8.4	
	習志野市		佐倉市		八千代市		千葉県	
	使用水量	単価	使用水量	単価	使用水量	単価	使用水量	単価
	1-10	40	1-10	88	1-10	60	1-10	57
	11-30	98	11-20	138	11-20	100	11-20	150
	31-50	147	21-30	180	21-30	155	21-40	244
	51-100	196	31-70	230	31-50	240	41-100	326
	101-500	247	71以上	270	51-100	290	101-500	404
	501-1000	297	逓増度	3.1	101以上	330	501以上	441
	1001以上	346			逓増度	5.5	逓増度	7.7

逓増度 8.7

【特徴】 事業者によって、区分・単価が異なる
近年改定した事業者は、少水量区分（1～10m³）の単価が高く、逓増度が低い



わたしが支えるあしたの暮らし 習志野市企業局

●他事業者との比較（従量料金）②

改定時期 R3.7		横浜市								改定時期 H17.1		東京都			
口径	13-25	40	50	75	100	150	200	250	口径	13-25	40	50-75	100以上		
使用水量	単価								使用水量	単価					
1-8	4								1-5	0					
8-10	48								6-10	22					
11-20	177	25	20	15	10		30	20	10	128					
21-30	253								21-30	163					
31-50	301								31-50	202					
51-100	327			329					51-100	213					
101-300	358					364			101-200	298					
301-1000	413					419			201-1000	372					
1001以上						463			1001以上	404					

逓増度 18.5 ~ 103.3

逓増度 18.4

【特徴】横浜市や東京都は、口径別の体系となっている。



わたしが支えるあしたの暮らし 習志野市企業局

●他事業者との比較（料金）

口径毎の平均使用量（R4習志野市）の料金

平均
使用量

口径	m ³ /月	習志野市	佐倉市	横浜市	八千代市	東京都	千葉県
13	9	890	1,349	920	1,140	948	893
20	19	2,292	3,290	2,614	2,720	2,432	2,810
25	36	4,792	7,530	7,132	6,400	5,692	7,564
30	81	15,726	19,928		19,770	17,098	20,316
40	172	40,504	47,178	54,058	51,040	30,451	61,948
50	485	123,365	135,601	101,354	159,650	201,140	195,895
75	843	246,921	244,910	328,417	287,430	359,219	372,473
100	2,144	714,864	613,976	924,722	730,240	960,744	977,014
150	3,406	1,233,396	1,002,956	1,513,078	1,190,960	1,535,118	1,647,256

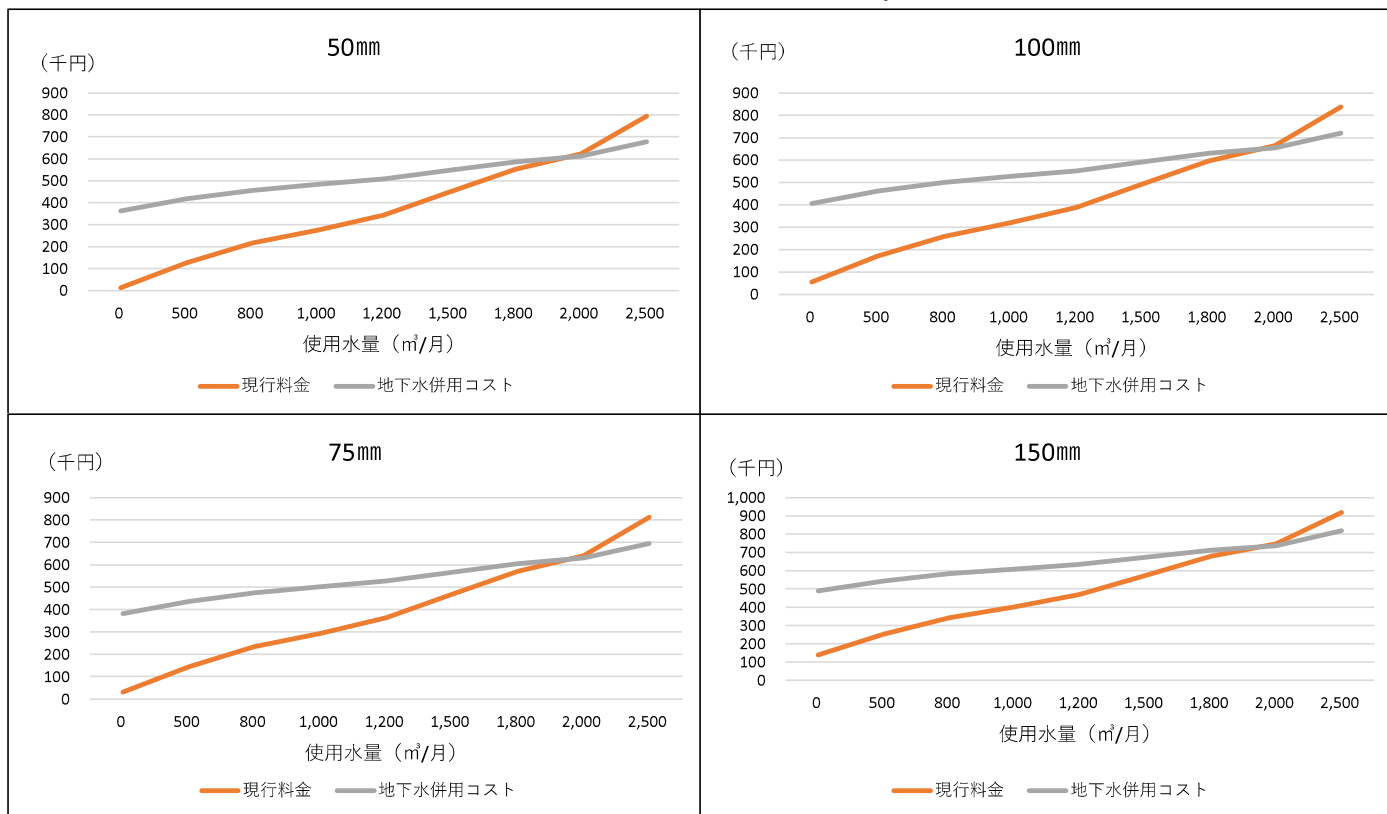
【特徴】佐倉市：13mm～50mm = 本市より高い。

75mm以上 = 本市より安い。→ 逓増度が低い



わたしが支えるあしたの暮らし 習志野市企業局

●現行料金と地下水併用のコスト比較：2,000m³/月が損益分岐点



●現行料金と地下水併用のコスト比較

(単位：円)	2,000m ³ /月				3,000m ³ /月			
	50mm	75mm	100mm	150mm	50mm	75mm	100mm	150mm
現行料金	621,570	639,550	665,040	746,920	967,570	985,550	1,011,040	1,092,920
地下水併用コスト	612,370	630,350	655,840	737,720	746,770	764,750	790,240	872,120
差	9,200	9,200	9,200	9,200	220,800	220,800	220,800	220,800

1か月に2,000m³以上の水道水を使用するお客様は、地下水を併用した方が安くなる。

使用水量が増えるほどその差が大きくなる。

●想定されるリスク

1か月に約2,000m³以上の水道水を使用するお客様 = 約10件
月平均使用量の合計 = 約29,000m³

地下水併用により、使用水量が8割減少した場合
年間有収水量 = △278,400m³
収益 = △9,600万円

令和4年度の純利益 約6,900万円

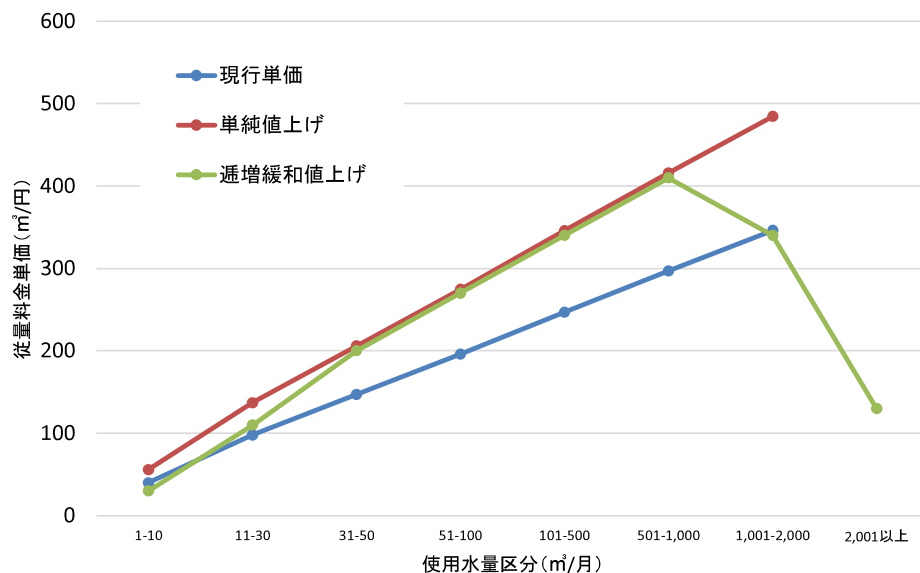
→純損失（赤字）2,700万円となる。



わたしが支えるあしたの暮らし 習志野市企業局

●料金改定にあたり

- ・逡増制の緩和
- ・大口向け料金
などを視野に検討



わたしが支えるあしたの暮らし 習志野市企業局